

春雨乗組員名簿

二十六年四月三日改訂

0660

楠

大田 藤十郎

中村 大田 藤十郎

中村 大田 藤十郎

中村 大田 藤十郎

中村 大田 藤十郎

中村 大田 藤十郎

×	⊙	×	×	×	×	×	官
中村	中村	中村	中村	中村	中村	中村	氏
大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田	氏
藤十郎	藤十郎	藤十郎	藤十郎	藤十郎	藤十郎	藤十郎	氏

0661

喜多川平次郎

喜多川平次郎

喜多川平次郎

〇〇〇〇×    〇××

全全一全全在喜喜喜喜  
水    日    日    日    日

藤本全次郎  
富原信太郎  
平川源次郎  
大木康文  
黒岩定市  
山下源助  
下川幸三郎  
芳賀松太郎  
岡崎秀助

0662

平喜幸の義兄  
 平喜幸の義兄  
 平喜幸の義兄  
 平喜幸の義兄

○ ○      × ×      × × ×  
 合 合 合 三 合 合 合 合 合 合

藤原 榎本 鎌田 安部 田中 朝倉 中津 野口 津島 坂本  
 宗春 丸市 雄一 邦道 中 倉 津 口 島 本

0663

一 平喜 在 可 十 年 見  
 一 平喜 在 可 十 年 見  
 一 平喜 在 可 十 年 見  
 一 平喜 在 可 十 年 見

○	○	X	X		X	X	X	○
合	一機	合	合	合	二機	合	一機	二水
安	國	宮	川	賊	白	伴	甲	岩
原	部	本	内	秀	土	落	斐	水
茂	老	久	半	生	茂	七	觀	森
翁	大	六	次	二	茂	郎	照	
	部		郎	合				

0664

○ ○ ○ ○ X X  
全 全 全 藏 全 全 全 全 全 全 全 全

○ ○ ○ ○ X X  
全 全 全 藏 全 全 全 全 全 全 全 全

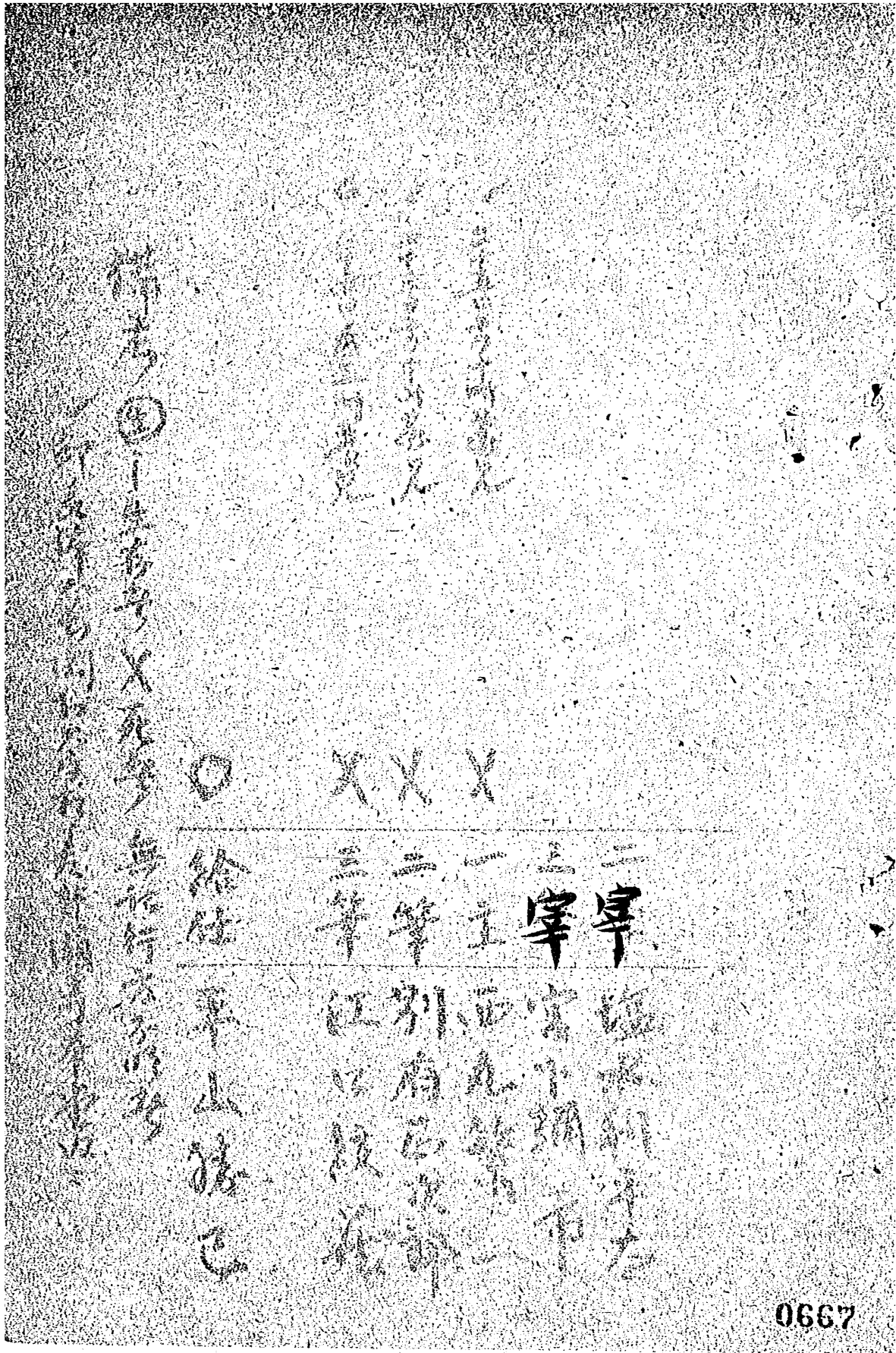
○	○	○	○	X	X			X	X
全	全	全	藏	全	全	全	全	全	藏
白石	尾崎	松崎	林田	高江	嶺	後藤	川添	横山	赤條
平次	瑞平	茂橋	義男	正一	時	嘉兵衛	清之助	良成	成友

0665

△ 三浦重定  
 △ 三浦重定  
 △ 三浦重定  
 △ 三浦重定  
 △ 三浦重定

X	X	O	O			X	X	O	O
合	合	合	三機兵	合	三機兵	合	合	合	三機兵
謝田助市	真松助市	松原貞興	北村重定	護本秀之	中俣直記	徳丸秀茂	内本政員	田中寛平	米沢大八

0666



0667





0668

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>

起案紙第一號

發送  
番號

明治廿五年十月廿

日起案

起案者  
捺印

十月廿

日發付  
捺印

發付後起  
案者捺印

午前

主務

軍務局長

局員

大臣

次官

副官

參事官

經理局長

司員

人事局

行員

明治四十四年十月廿  
軍務局長  
次官  
副官  
參事官  
局員  
司員  
行員  
人事局

0669

天野



電報 報 着 信 紙 局 人事 局

軍務局



局 着		局 發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午前	第	局
	受信	午後	午前	三	友
	受信	時	時	七	
	受信	分	分	日	
	受信	字	分	號	
	受信			報	

カトクセ

安乗着

沿岸搜索二向

十月廿一日

七十一號水雷艇

4ヤクエカ

ハクニムカ

ソ

指 定

番着信	紙	名氏所居人信發
二	第六十三號	七一
印附日信着		

0671

供覽

電

軍務局

艦政本部



十

月三十

日午

四時

五分

大王

局發

本省

海

軍

受信者

次官

發信者

水雷團長

電報譯

昨日海上穩ミテ島羽造船所負ガ春雨ノ状態  
 ヲ調査シタルニ少シク左舷ニ傾キ前下リノ南ニ向  
 ヒ墜礁右舷四仙左舷三仙ノ音礁ヲ聞マル其ノ  
 岩ノ淺キハ四尺深キハ十五尺ニテ士官室ヨリ後  
 部ノ裂目ハ六尺アリ、船底ヲ僅ニ接着シ  
 居リ、船首三十六尺計リリベツト断シ後正  
 室ノ下ニ百中一吋穴アリ、其他船底ノ損

花崎

0672

海軍

傷ハ未だ明瞭ナラス附行ノ岩ハ並礁ノ為メ碎  
ケルニ跡アリテ固カラズ幾分乏シク破碎シ  
士官室後部ノ裂目ヲ繞ギ舷側ニ雜井ヲ  
附ケ釣り揚ケル方法ヲ取ラハ引揚ゲ得ベキ  
見込ニ入りト云フ水深ハ前部二十五尺後部  
二十尺アリ至急救助負ノ派遣ヲ乞フ上甲  
板ノ大砲架ハ今後ノ損害ヲ大ナシメザン為  
メ取り不敵鳥羽造船所ノ手ニテ取り外シ  
ノ準備ヲ今朝ヨリ為シワ、アリ、委細書  
面横録長官ハ電報セリ

(1)

花時選

0673



電 報 着 信 紙

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信	付受 午後 前	付受 午後 前	月	第	報	局
		時 分	時 分	日	號		
						定 指	
エ	リ	三	ク	ニ	シ	コ	ク
六	ベ	シ	テ	テ	イ	ラ	ニ
シ	ハ	ヤ	ク	シ	ワ	ブ	テ
ヤ	ツ	ク	ア	カ	ノ	ア	カ
ク	ト	レ	リ	キ	ア	サ	ワ
バ	キ	カ	セ	ワ	キ	ハ	一
カ	レ	ニ	セ	ツ	ハ	ヒ	五
リ	コ	セ	セ	ヨ	ル	ヤ	五
コ	ウ	セ	ワ	リ	ツ		五
						事 記	
						番着 號信	名氏所居人信發
						第九十九號	
						印附日信着	

0675





# 電 報 着 信 紙

局 着		局 發					名氏所居人信受	
取扱者	受信	付受 午後 後前	付受 午後 後前	月	第	報	局	の
		時 分	時 分	日	號	報	局	
定 指								
事 記								
番着 號信		數紙		名氏所居人信發				
		第						
		一						
		號						
印附日信着								
イ エ キ ヲ ニ ヲ キ ヲ キ ヲ キ ヲ キ ヲ キ ヲ キ ヲ キ ヲ ノ ヲ ハ ケ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ サ ケ メ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ツ リ ア グ ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ト ラ バ ヒ ル オ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ノ ヲ ヲ ノ ヲ ノ								

0677







至急

起案紙第一號

明治四十四年十一月八日起案  
起案者 捺印  
發付後起案者捺印  
發付掛印  
發付後起案者捺印

主務 軍務局長 打  
局員 中野

大臣 佐野 副 德

次官 參事官

艦政本部長 杉本

經理局長

第三部 第四部 會計課

軍令部長 五

次長

第一班

電案

明治四十四年十一月二十八日 官守 大臣

横鎮長官宛

貴官ハ経驗アル部下職員ヲシテ的哉

發送番號

毎頁

官房接受

0681

港口、沈没セル駆逐艦春雨ノ現状ヲ実  
査セシメ適宜之カ引揚方取計ヲレ  
但シ是ニ要スル費用ハ取調至急報告スヘシ

電案

明治四十四年十月廿八日 海軍大臣

佐鎮老官宛

佐鎮賀鎮守府司令長官ニ對シ下通  
リ電訓セリ 下記ハ前案ニ依テ

0682

水雷長報告

0683



報 告 一

覽

電

軍務局

艦政本部

會計課	第四部	第三部	第二部	第一部
-----	-----	-----	-----	-----

明治四十四年十一月廿七日

北前港船運所候渡

森佐老馬水雷團長

北前港船運所候渡

北前港船運所候渡

報告

第一

手書後一特三四特、用六ノカリ候渡船合マ

引續三四ノ電報、此ノ船運所奉向ノ者、海軍國政

甚重ナル運搬、此ノ船運所奉向ノ者、海軍國政

甚重ナル運搬、此ノ船運所奉向ノ者、海軍國政

甚重ナル運搬、此ノ船運所奉向ノ者、海軍國政

三

0684

之ノ事也平第一艦隊三十七號七十一號艦ノ方此方巡航中ナリ  
之ニ依テ春由建勳際ノ命ニ依リ其故ヲ獲テ定率ニ  
為時島別ニ艦此ニシテナリキ

依ノ直ニシテ十一号艦ノ格果的ニ港ニ向テ連中華船島  
キノ押勢海ノ手ニ於テ的ニ港ニ向ヒテ港ニ付近テ港  
外ニ引返ヒルノ勢ニ

港ノ曹長ノ曰ク春由ノ煙突上ノ部ノ水筒ノ類ニ被後  
ノ其ノノ認メシモ被高クテ引揚テリ船ノ欠ク船ノ直ニ  
被後ノ事ニ

被後ノ後ノ船者河川大船ノ被後ノ事ニ連建勳事也  
今日ノ事ニ連建勳軍大ノ事ニ

0685



直下大船、田頭及航ノ後先信辨及要線電信ノ下ノ航  
 長決ハソコ令ノ報告一、同時又後續航線被シテノ  
 通報一、綾波駆逐艦長ニ春雨ノ状況等ノ指示  
 ナリ判断ナシ成波トモ時田頭及航一  
 予前時前後海雨表表望望知ニ困難ニテ  
 春雨ノ状況更ニ視ニ一能ナリシモ最早ノ港地端シ  
 牛車崎ノ航線ノ波シタルモナルキヲ豫想シ終始  
 要線電信ノ下ノ連絡ヲ保持シ状況ヲ知ラレテノ切  
 メタルモ更ニ海ノ外ナカリキ然レバ之レ天候換悪航ノ  
 郵場ノ下ノ通信不達ナルモト思考ナリ  
 予前時村近河航線ノ交戦シ的ノ港ノ向ニ

0687

5

午前六時前後より波が續つて咸波入港し達港口に於て  
 此ノ春雨ノ稠密地波ヲ知レ波幅後故射。着り可也。  
 春雨ノ最後 (在文海波記在常後々々ノ寫)  
 連難者ノ言ノ綿合シ春雨最後ノ状況ヲ知レ右ノ如シ  
 二十三日波頃より又候不穩ニシテ風力増。増加レ波浪  
 高ク船ノ動搖殊ニ甚シ午後十時高橋折レ驟雨  
 切リ。東襲レ和歌浦用航困難ニシテ避泊ノ上ニナキニ至  
 リ遂ニ的支港ニ向テ決ス。二十三日に至レ公又候愈々  
 候悪トシテ午前零時ナリ漸ク半葉崎燈塔ノ塔頂見スル  
 一ノ海流。船位ノ降定レ探照燈ヲ以テ周圍ノ照射シ  
 寸分以下葉崎燈塔ノ塔頂見張ノ嚴

0688

ニ安東港ニ到リ此時風波最激甚操縦意ノ如クナ  
 ラズ一浪浪毎ニ船停々右側管絃ノ玉ニシテ前迄特逐  
 二艦前寄リ暗礁ニ触レ次ノ来ニ怒濤ハ機内ノ金力  
 ニ及レテ再ハ船尾ヲ擱坐セシムルニ至レリ依テ司令官ヨリ  
 排水ニ従事セシメヨルニ使ハ船ノ巻々ト上下キリ是ハ盛ニ  
 シ艦刻々沈下シテ止マズ最後ニ總復ヲ船楫付近ニ集  
 メ君々代ヲ歌ヒ艦下ノ異哉ノ唱フ此時既ニ端舟始  
 ヲ上甲板諸材傍物ハ沈マカク最末ニ乗員又志  
 請多々逐一人ニ残ルモナシ然レハ尚堪威ノ毒喝激  
 激ノ聲響響ニ和ルモアーレト云フ  
 生存者ニ十名中一名ノ重傷者ヲ擔リ外船ニ気取

0689

復入

(一) 春利ノ地況状態

大豊野ノ電報ノ通リ

与ハシマニ候年穂ナリシムノ所ナキト来候ハ長ノ期直ラナレ

ト々々用ハシマノ詳報ノ進達セトス

(二) 北村ノ収奪並ニ地大官隊ノ厚意

春利遭難以來ニ重懸知事ノ始メトシ郡村長等

篤信地方官公使ノ或ハ慰問シ或ハ寄贈スルニ

ルモノ甚續ルリ殊ニ付近古兵ノ非卓ナル厚意

ヲ以テ故々復ハシメ奉ル所長向ノ其業等ノ各村

民ハ殆ド其生業ヲ顧ミカ来援シ漁業者ハバ

青軍國情等々、奉テ死守、收房、後事、其款四五万  
名、及び其母約百名、他ノ有名者、島羽海軍ニシテ

如何、平常荒海、熟練セルミト云ハ、高浪ヲモ事ト

セ、今、田ノ如ク、熱心ノ作業、短事ニシテ、其列ヲ見ス

ト云フ、今日、此ノ如ク、死守、大志、海軍ノ海威、層々中、河、

又、其他ノ、走、幼、寺、院、其、一、殉、難、者、共、養、ヲ、ナ、ス

モノ、多、シ

今、日、迄、至、ル、死、守、ノ、至、道、大、ニ、如、シ

三十四

天、候、未、カ、今、日、後、ニ、シ、波、浪、高、シ、テ、作、業、困、難

ナ、リ、レ、モ、幸、テ、各、島、ノ、村、民、ノ、危、命、ヲ、保、シ、テ、難、事、ナ、リ

0691



所ニ至リ煙突内ニ身俸ノ縛着シ幸ラシク生存セシムル者  
ヲ収容シタリ此迄ニ死俸四ヲ収得セリ

生存者中ニ城島一名、重傷ヲテ山田毒十字社病院ニ  
入気セシメタリ

三十九日

天候稍恢復死俸三ニハ収容ス

二十六日

午前中ニ死俸カヲ収容シテ午後ニ至リ瓜波起リ作業

困難トナリシレバ一時捜索ヲ中止ス

以上収容死俸ニ皆女乗長岡ノ所幸候ニ収容シ明

時ニ衣履アリモ一外火葬ニ付ス事

0692

(四) 船体損傷ノ調査ニシテ重要物件ノ処置ヲ

廿九日船体射撃演習ノ多ク洋勢湾ノ中ノ軍

艦屬士ヲ潜水器一組合ニシテ要人負ノ借用シ

船体ノ損傷調査ニシテ重要物件ノ取込レ等

足事(シツヤ)

又島羽先船所ヨリ潜水器ヲ取レテ主トシテ船体外部ノ

損傷調査ニ足事(シツヤ)

救急備書ノ抄納所ニシテ船長兼士官兼ニ送断せん

シテ其ノ大要ハ流矢ノ傾向ノ依テ縣知事

務長 郡長 警察署長 救急備書ノ取替ニ際ス

或ハ遺棄物件ノ取込ニ際スルニ係ルニ係取計

0693

置キタル迄ノ秋幕尚書等ノ事外者ノ事ニ應(中)

トナレト云ク

今日區ノ秋幕尚書類ニ事ノ一ニ收得シ得ズ

(五) 親縁等來援

某ニ親縁等來援ニ事辦候ニ兼テ地方巡視中ナリ

シテ春兩造對シテ命ニ從テ其方ヨリ荒更テ

シテ運ニ事約スル鳥羽ト向テ往復シ碓氷界ニ

缺糧倉ノ補給或ハ此ノ運ニテキ重傷者ノ

獲匿ニ違事ノ一ト親縁ハ今後ノ續キ増流死

体及物仲ノ毀棄ニ違事トシテ

又此區形ノ一ト信託船中ノ海ニ依リ三十五日午時迄

0694

海軍

可成船の運送に其伴横濱等へ送事せしむ事  
横濱船へ取港す

通者地々へ取信此期甚く候旨仰不覚とす

時成送川舟の起りし事 又信如何候

死伴、収容各船停頓場、調査、影響者

ル一是

報告  
横濱支隊長  
伊藤支隊長

0695

報告二

御覽

電

軍務局

艦政本部

御覽

寫り送付にまじりて

御覽

明治四十四年十月十八日 於的志港 駆逐艦 磯波

森佐吉 保水雷團長

江口 代 守 護 隊 長

局員 中 願

駆逐艦 春 兩 遭 難 救 護 報 告

第二

二十七日

第一

第二

第三

會社 調査 報告 春 兩 艦 首 南 向 前 下

18 三 艦 12-8

御覽

12.19

0696

44.12.14

12-11

12-4A

リ、ハシク九船ニ傾キテ坐礁シ水深前部ニ五尺後部ニ二尺ナリ  
 船ニ四個九船ニ三個ノ暗礁ニテ固マル其岩ノ淺キハ四尺深キハ一尺  
 ニテ左舷室ヨリ後部ノ裂目ハ約六尺船底ニテ僅カニ接着シ  
 居リ船首ニ五尺許リノ切斷ニ依リ正堂ノ下ニ六尺ノ破孔  
 アリ其他船底ノ損傷ハ未ダ明瞭ナリ附近ノ岩ハ坐礁ノタン碎々  
 ル跡ニテ硬カク幾分シテ破碎シテ管壁内部ノ裂目自ラ接キ船  
 側ニ和船ヲ付ク釣リ上ケル方法ヲ取ルハ引揚ケ得ルヲ見込アリトテ  
 依リ速急横須賀ニ技術官ノ派遣ヲ詳細ニ調査スル  
 事ニ着手シ中央ノ發射管一門ハ春兩附近ノ海底ニ落ラシモ他ノ一門  
 ハ未ダ見込ハ大砲ハ全部残存ス之等上甲板ノ大砲等ハ今後ノ損  
 害ヲ大查シサレタテ不取敵島羽造船所ノ手ニテ今朝ヨリ取外ス事

0697

備着乎ニソアリ

春而遭難位置 船俸損傷別圖ノ如シ

(二) ~~水~~ 草朝ヨリ約百五十名ノ海女遭難場附近ニ安場シテ死俸

搜索ニ從事シ其収密セルモノ如シ

司令 大瀧中佐

吉田機寅中尉

下土 竜 幸四

合計七名ニシテ未ク不明ニ屬セルモノ尚七名アリ

(三) 本~~日~~ 獲得セル主要物件花ノ如シ

品 名 記 事

一 海軍信號書篋編 (春而) 屬主潜込者之ヲ艦内ヨリ取得ス

(三) 項ノ後尾  
付ク

0698

二 全

第三編 表紙 (春四毛)

全右

三 左

附圖 (春四毛)

全右

四 第一艦隊 軍機 出令

五 兵要圖

六 全攷

富海軍者之ヲ船由多ク收得ス

(四) 殉難者遺族、到着セリ

兎玉大尉夫人及親族五名

三宮中主計 親族三名

橋本中尉 親族三名 (天侍兼少将見セリ)

0699



下士親族 壹名 (死体未明)

(五) 華首より死体の火葬。着身衣及本口中火葬。死者九名如之

中主計 三宮米三郎 電尉 副司三郎 死体

外下士卒死体拾七名

計 拾八名

(六) 六十七号艇の沿岸搜索

舟は早瀬の矢港より大玉崎に至る沿岸より航して漂流物搜索

從事せしむる格得るものなし

(七) 本日迄の寄贈の度とるもの九名如之

月日 名 寄贈者

十月五日 菓子 一缶 母栗村清平 片山平生

0700

今日 清酒 一樽 寸十七号船

今日 莫大小襦衣袴下二十組 志摩尚武会

今日 菓子 三折 安楽村在郷軍人会

今日 青手書 巻紙外用品十四点 早稲中社三重支部  
日本海軍換清会三重支部

今日 心スケツト三筆 日存赤十字社篤志看護婦人会

端書二五〇枚 三重支部

今日 湯書百枚 錦軍手奉 加茂在郷軍人会

今日 函磨 関大磨 百廿枚 二十 軍船 富士下奉 一回

今日 七手百枚 長吉村私道尋常女子小会 長吉村

今日 端書百枚 長岡村医 榎森岩次郎

今日 藪島五十個 島雨所

0701

右日	端書 百枚	島羽在御軍人分左
右日	菓子 三袋	右左倉長海軍統小川水路
右日	菓子 十袋	的矢在御軍人國
右日	生野菜 一船	長岡村大字屋崎在御軍人會
右日	中壽古袋 一袋	右左世古袋七
右日	林檎 三袋	三重直志摩郡的矢和木下甚八
右日	菓子 三袋	三重市本町通中自留易の橋
右日	野猪 一頭	素主島藏
右日	敷島二柄端書三枚	志御碑寄書長島守彦方郎
右日	敷島二柄朝呈十白	的矢村
右日	端書三十枚	宇井忠吉之長投取
		甲賀長島守彦今倉出内井萬三郎

0702

右日

鯨 四樽

安楽村

右日

清酒一樽 鯨並詰洋酒並詰八分大 島田洋水産株式会社

右日

ウイスキー一升 公金詰六仙 島田造船工場 船長 堀井常吉

二十日

鯨 拾五樽

長岡村青年会

右日

慰問品 三十五点

長岡村弘道寺不校生徒

右日

鯨節 三升二斗

國崎少不校職員

右日

葡萄酒 百枚

西崎小不校生徒

右日

夕オル 二反

飯矢小不校職員

右日

真綿 若干

長岡村青年会

二十日

金五円

長岡村在船員分会

右日

金五円

加茂村

0703



(三) 本館に収得せる物件之ノ如キ 一 海軍信辨書 一編	軍械番辨ノ頁及其他ノ部分より破断セル本書ハ 春兩ノモノナルヲ確美ナリ	二 海軍信辨書ノ葉ニ編ノ表紙ノミ 三 兵要圖 四枚	海令軍械 百三十八號 25ノ三 (一部破断ス) 合 25ノ八	合 25ノ〇	合 25ノ二一	四 御勅諭箱 陸 (在中)
---------------------------------	---------------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	--------	---------	---------------

0705

五 金櫛 七

六 方位盤 七

七 巴式測巨機 七 (無梅ヲ拾得ス)

八 信弼旗

外官及十七隻及私有品二十一隻

右ハ凡ソ將校監督ノ下ニ軍艦島士溺ル者ノ春兩艦内

ヲ取得セルモノニ係ル

以外私有品八隻長岡村海岸ニ漂着セルモノアリテ屬ス

タラタリ

0706



春雨遺跡位置図  
 (海軍海図第百二十三号「同」度)

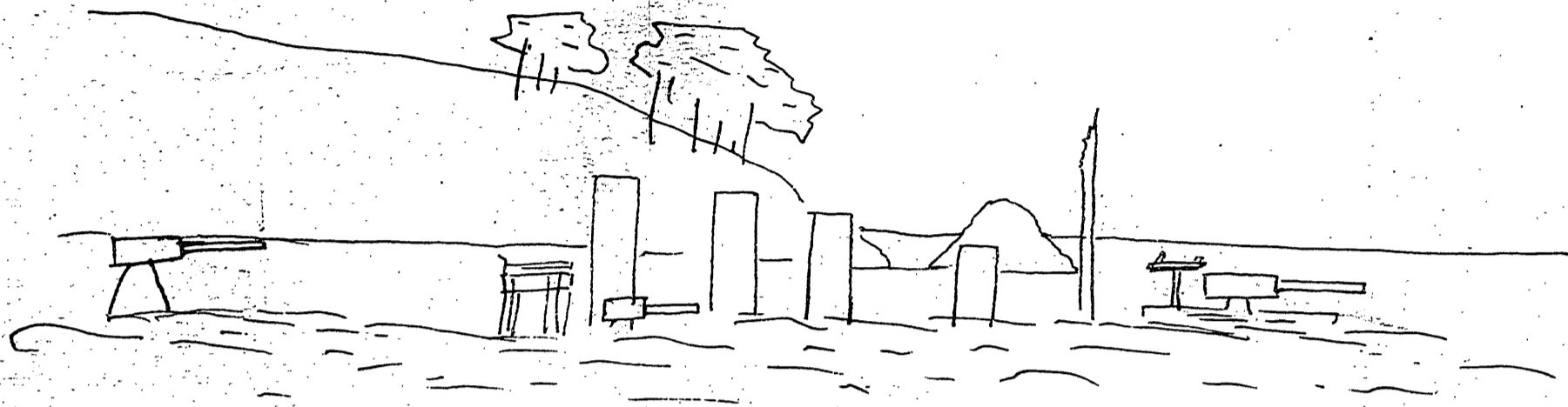
0707



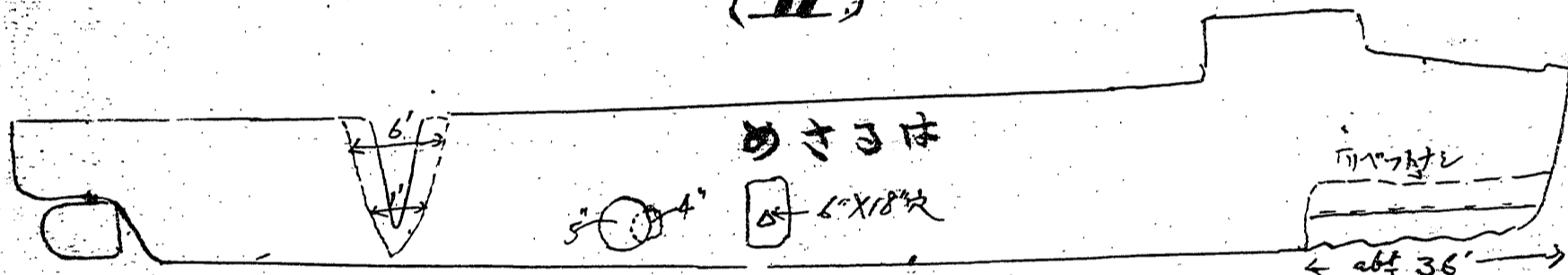
# 春雨損傷圖

0708

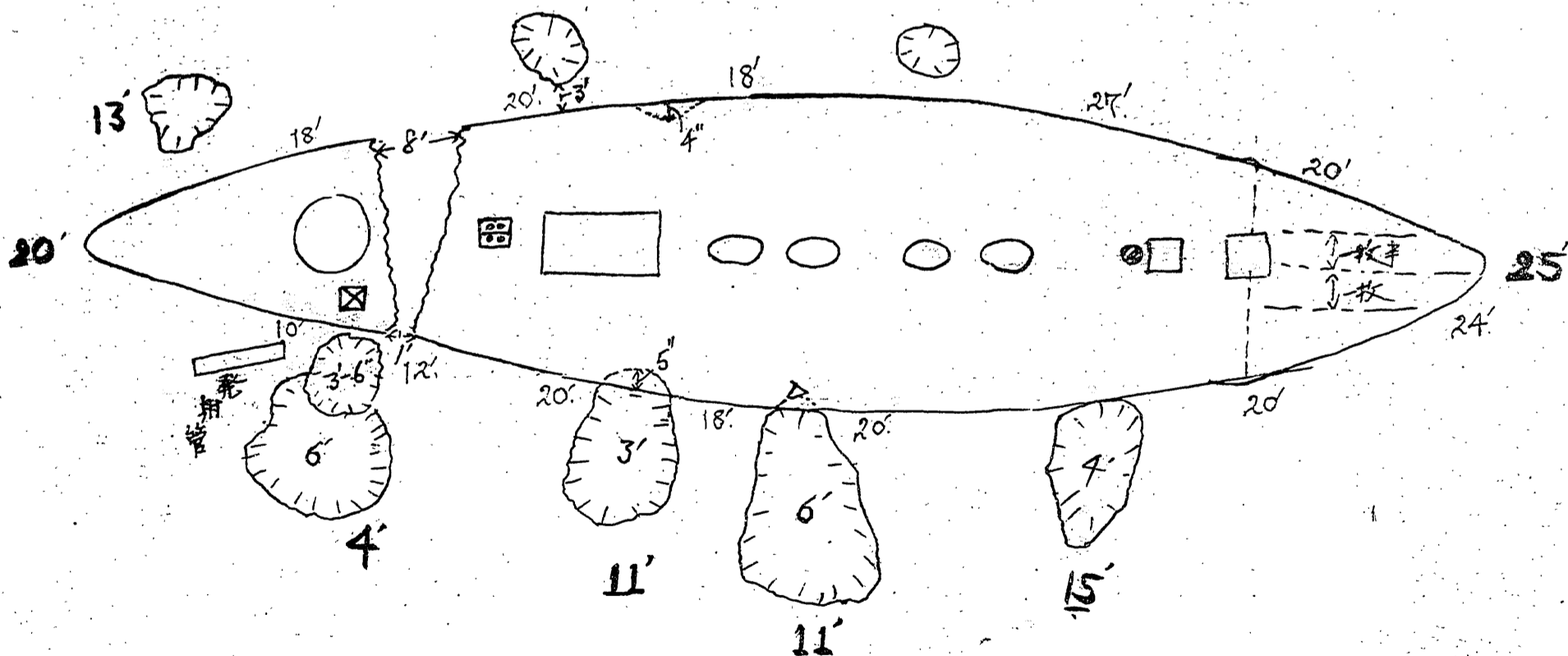
(I)



(II)



(III)



備考

- a. 岩上、数字、其岩大サヲ示ス(尺) 岩側、数字、暗礁、深ヲ示ス(尺)
- b. 船作周囲、数字、本圖調製時ニ於ケル水深ヲ示ス(尺)
- c. 本圖、明治四十四年拾一月ニ於ケル午前八時ニ於テ遭難現場ニ至リ調製スルニ付、  
(此水深ハ目下、午水時ニ至ルニ至テテ高差六尺アリ、猶村屯、言ハルニ、近日常ニ於テ、  
干満差ヲ生ズベシト云フ)